

H27地域協働研究（地域提案型・前期）

RN-21「震災復興と地域活性化－机浜番屋群を拠点とした地域振興策の検討を中心として－」

課題提案者：田野畑村政策推進課

研究代表者：総合政策学部 田島平伸

研究チーム員：齋藤俊明（総合政策学部）、工藤光幸（田野畑村政策推進課）、佐藤辰男（NPO法人体験村・たのはたネットワーク）

<要 旨>

本調査研究は田野畑村から提案された地域提案型のプロジェクトである。田野畑村、NPO法人体験村たのはた、そして岩手県立大学総合政策学部齋藤・田島の2名の教員で調査研究チームを立ち上げ、これに田島ゼミ3年生5名が参加した。本調査研究では、調査およびワークショップを4回実施した。また、先進事例調査を静岡県戸田と河津で行った。なお、その結果は「地域づくりフォーラム in たのはた」で報告するとともに、報告書にまとめ公表した。詳細は同報告書を参照されたい。

1 研究の概要（背景・目的等）

施設整備とともに求められているのは、人材育成や人と人との交流である。復旧後間もないため利用者のニーズの把握も半ばであり、これまでの活用の範囲を広げたメニューの開発までは至っていない。また、そこで作られる生製品の販売、活用方策の検討もこれからであり、早急な対策が必要である。

2 研究の内容（方法・経過等）

机浜番屋群内の施設に研究活動拠点を置き、地域住民や他団体、来訪者との交流を深め、地域の持つ新たな特性や魅力を引き出すため、地域内資源の調査・発掘、及び検証を行った。

3 これまで得られた研究の成果

以下の提言・提案を行った。①番屋周辺の四季の写真が入ったカレンダーの作成、首都圏・県内配布、②絵はがきを作成し観光客への情報連絡に使う、③カラー塩を製造し、料理やインテリアとして活用する、④生製品の販売・活用のためのパンフレットを作成する、⑤トレッキングコースの現状と課題および展望、⑥釣り・ダイビングの観光資源としての可能性、⑦星座や日の出の観察。

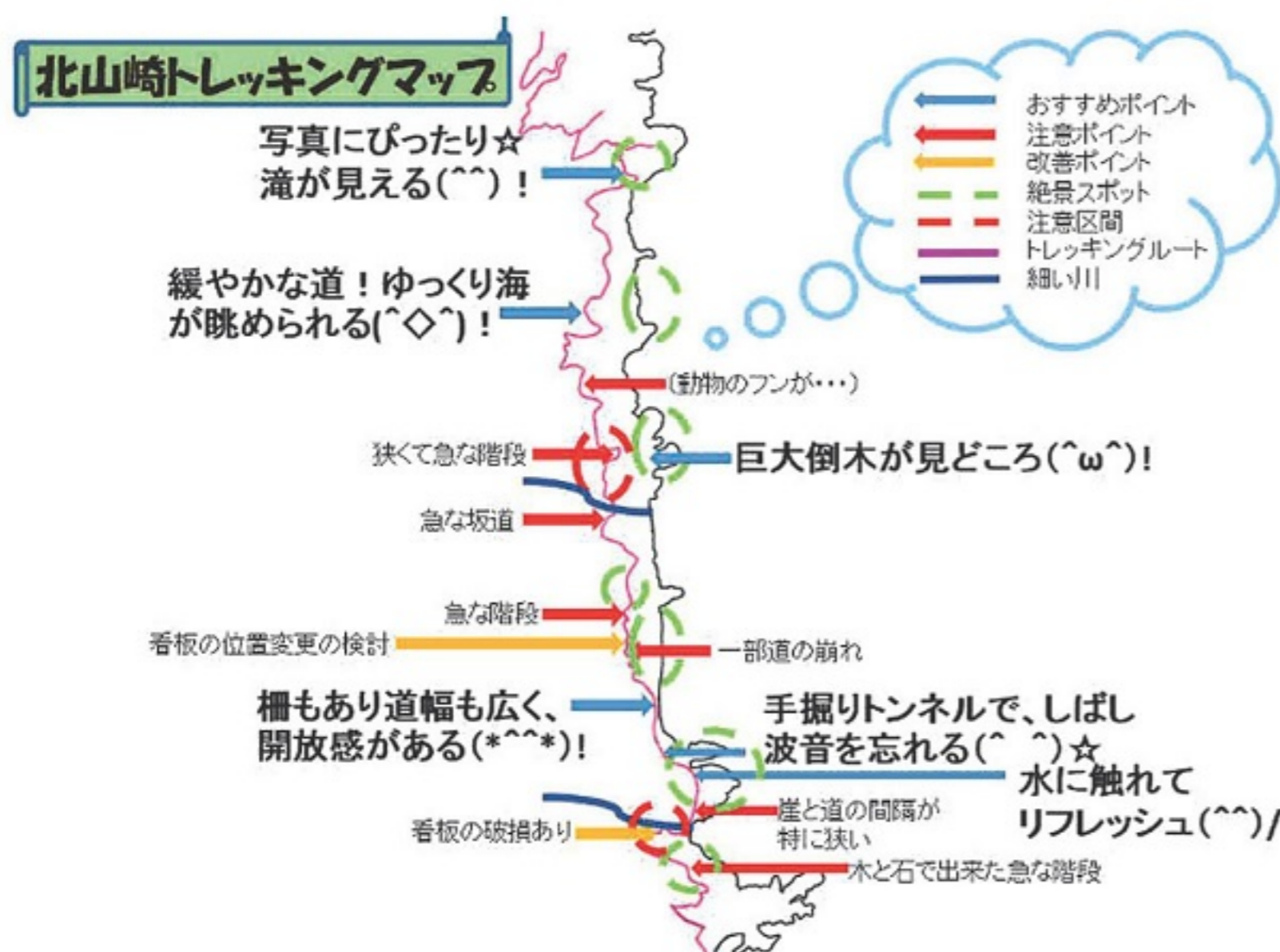


図1 トレッキングマップの例



図2 観光資源としての写真プロジェクト

4 今後の具体的な展開

平成28年3月5日（土）、番屋において、「地域づくりフォーラム in たのはた」が開催された。そこでは、学生からの提案、先進事例紹介などが報告された。参加者からも多くの意見や感想が出された。今後はこれらの意見や感想を踏まえてさらに調査研究を進めたい。



図3 先進事例の紹介（静岡県戸田の塩の事例）

5 その他（参考文献・謝辞等）

・『地域づくりフォーラム in たのはた報告書』
平成28年3月

表 本調査研究のスケジュール

◆第1回

日時	活動内容	詳細
2015.10.17	田野畑村の視察	北山崎展望台・ビジターセンター・島越駅・鶉の巣断崖など
	体験村の方と対談	番屋の取り組みや今後の展望・課題について
	写真撮影	カレンダー・ポストカード等作成のため
	調理体験	観光体験プランの体験として
2015.10.18	写真撮影	カレンダー・ポストカード等作成のため
	田野畑村の視察	下地地区・北川食堂・思惟大橋周辺・歴史資料館・明石キャンプ場など

◆第2回

日時	活動内容	詳細
2015.11.7	トレッキング散策	写真撮影や調査をしながら
	写真撮影	住民の皆様の協力の下
	ヒアリング調査	写真撮影と並行して
2015.11.8	駅周辺の施設の調査	喫茶店や売店などの施設の種類や利用状況など
	羅賀荘の見学	現状や役割を説明いただきながら
	田野畑村の視察	現状や役割を説明いただきながら

◆第3回

日時	活動内容	詳細
2015.11.28	トレッキングコースの散策	ゼミ生全員でコースの調査や話し合い、写真撮影などを兼ねて
	写真撮影	カレンダー等作成のため
	ヒアリング調査	ビジターセンターにて
	ヒアリングを兼ねた懇親会	住民の方のこだわりや将来についての考えなど
2015.11.29	トレッキング散策	マップとの参照や写真撮影・コース調査など
	写真撮影	住民の皆様の協力の下
	ヒアリング調査	写真撮影と並行して
	話し合い	体験村の方と現時点での活動報告と今後の活動方針について

◆第4回

日時	活動内容	詳細
2016.2.20	報告書作成	各自作業
	写真撮影	報告書やカレンダー・ポストカード等作成のため
2016.2.21	野田村の視察	野田塩の購入と調査
	弁天崎灯台の視察	カレンダー・ポストカード等の写真撮影のため

◆第5回

日時	活動内容	詳細
2016.3.6	活動報告会	机浜番屋群および岩手県立大学地域づくり大学たのはた校にて



図4 ポストカード作り用の写真の例（星空）